

クラインガルテンだより

■発行／松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 1月27日 ■印刷／(株)ブラルト

実をつけて！
赤くたわわに

2017 初春号 Vol.27

坊主山クラインガルテン前庭

信州の
味な
はなし

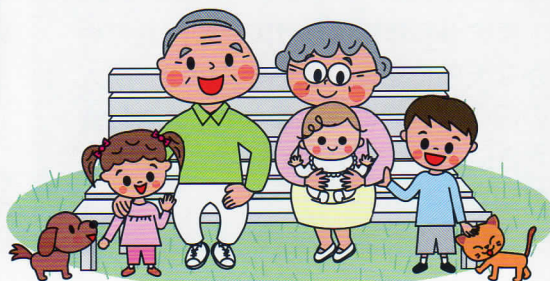


松本平発祥の山賊焼き

香ばしく美味しい山賊焼きは、今や多くの人に愛される鶏肉料理。食事処では各店それぞれの味づくりに切磋琢磨していて、長野県では中信地域、特に塩尻市や松本市、安曇野市などで人気が高く、スーパーなどでも売られています。一度ご賞味を！

新年明けましておめでとうございます。

なぜか年が明けて今見る、南天の実の赤さに感動しています。この界限、どこの南天の木にも実がたわわについていて、しかも例年よりも赤い実が目立ちます。南天の花言葉を探してみるとたくさんありますが、「良い家庭」にちなんで各家庭の庭先に見かけることがしばしばです。今年も無病息災で明るい年にしたいですね。



ラウベのお庭拝見

坊主山112号の柳沢国弘さんのお庭を拝見しました。草も木も凍てつく季節。寒風の中で白菜とキャベツが凜として収穫を待っています。また玉ねぎの一畝にはネットが掛けられており、別の畝は丁寧に稲わらで守られています。他にはニンジン、ほうれん草、青梗菜などが植えられていて、厳しい冬を必死に生き抜こうとしています。春よ早く来い！



2016クラインガルテン 収穫祭開催!

坊主山クラインガルテン ● 10月23日(日)

昨秋も恒例の「クラインガルテン収穫祭」が盛大に開催されました。曇り空で風が冷たい中でのイベントでしたが…。

午前9時30分、アルプホルンの演奏を皮切りに開会。式典に続きステージでの発表、そして食べ物コーナーも開店しました。フリーマーケットや地区内外の皆さんの秋野菜をはじめとする色々な商品販売で、にぎわいを見せました。中でも秋野菜は気象事情もあって品薄高値の時節のため、飛ぶように売っていました。笑顔あふれる収穫祭でした。3班スタッフの皆さま、お疲れさまでした。



楽しい ペタtingコ餅つき会

緑ヶ丘クラインガルテン ● 12月18日(日)

師走の18日、ガルテナーによる恒例の餅つき会が開催されました。冷え込みの厳しい朝にもかかわらず次々と参加者が集まり、ミーティングのあと早速かまどに火を焚き始め、一生懸命にもち米を蒸す釜の湯を沸かしました。他方では前日に洗米して水に浸けておいたもち米のざる上げをしました。1時間ほどでもち米が蒸し上がると木臼に移して交代でつきました。つきあがった餅は直ちに小分けしてのし餅にしました。この日は8日をつき、最後はちぎり餅にしておろし大根やきな粉、あんこと共に食しました。とても有意義で楽しい1日を過ごすことができました。

四賀

ガルテン歳時記



年末から年始にかけて比較のおだやかな天候に恵まれた信州ですが、成人の日には白銀の雪に覆われ、久々の雪かきにどこも大わらわでした。でも暖冬気味でしょうね!



かくなるまでじつと辛抱です! 地球環境の変動は予測が難しいですね!

一向に乾燥しない圃場

秋雨前線の長雨の影響で、いつまでたっても田や畑が乾燥しないままに年を越してしまいました。春野菜に思いを馳せて圃場の準備を予定していたガルテナーの皆さんの中にも、手付かずのうちに冬を迎えた方がいるようですね。暖

信州暮らしを 心の向くまま体感中

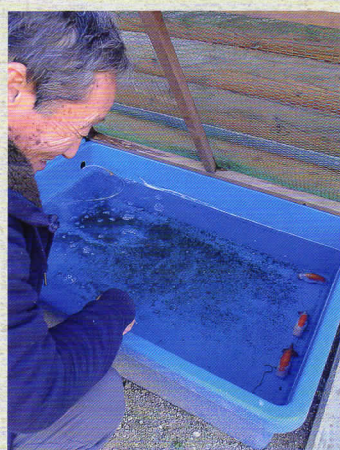
緑ヶ丘クラインガルテン 337号 藪谷 満雄さん・紀美子さん

四賀ガルテナーの楽しみ
ガルテンは何してん!?

藪谷満雄さん(67)、紀美子さん(65)夫妻が入居したのは昨年4月です。「1年目なので何もかもが初めて」と新鮮な感動を話す2

人ですが、分かりやすい本で野菜作りを学び、地域の人や先輩ガルテナーさんにも教えてもらいながら果物やハーブも含め28種を栽培。「発芽を待つのも楽しい」と、ほとんどを種から育てました。

「失敗もあったけどトマトとスイカは好評だったね」と満雄さん。パンを焼くのが趣味という紀美子さんは「自分で焼いたパンと、畑のレタスやトマトで作ったサンドイッチが美味しくて嬉しくて」と信州の地で育った野菜を存分に楽しんだ夏を振り返ります。



現在、越冬する作物の栽培と保存に挑戦中で、青い葉をのびのびと広げたイチゴや柔らかなホウレンソウを愛しそうに見つめたり、地中に保存した大根を掘り起こして「シャキシャキ感が変わらないよね」と満足げに笑顔を交わすなど、冬でも畑の恩恵を味わっています。自宅は「帰るたびに風の暖かさを感じる」という静岡市内ですが、家が密集する住宅街。65歳で退職した満雄さんは、「季節の移ろいを眺めながら暮らしたい」と信州への本格的な移住を前提に、病院勤めの紀美子さんの退職を待つて緑ヶ丘に入居しました。

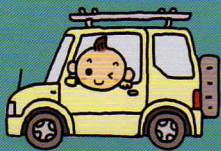
午前中に畑仕事を終え、あとは昼寝とランチウの世話が日課と



という満雄さん。「遠い山々まで一望できる景色に心が休まる」とベランダに置いた自作のベンチからの眺めを楽しみます。一方「人と触れ合いたい」という紀美子さんは、看護師として老人福祉施設に週2日勤務するほか、パン作りと手芸のサークルにも入って地域の人との交流を深めています。そんな2人がそろって感動したのは昨年末の雪の朝でした。「雪景色が嬉しくて『雪だ、雪だ』って騒いだね」と笑顔がこぼれます。

静岡の自宅に帰るのは、持病のある満雄さんの3カ月に1度の通院と冠婚葬祭のみ。「これから来る寒さが我慢できなかったら静岡に帰ろうかな」という満雄さんの横で「私は本格的な寒さも体験したい」と紀美子さん。お互いの楽しみ方を尊重しながら信州の暮らしを体感する2人です。





行ってみよう!

クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

Event information

※イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。

中町今昔物語展

開催日 2月12日(日)まで
ところ 松本市 はかり資料館
お問い合わせ 同資料館 ☎0263-36-1191

なまこ壁の土蔵造りの店舗が軒を連ねる中町通りは、松本の人気観光スポットのひとつ。今展では明治時代以降、昭和30年代までの中町・中心市街地の変遷などが分かる写真パネルを展示。入館料は大人200円。月曜休館。

サロンあがたの森「商都まつもと今昔ものがたり」

開催日 2月18日(土)PM1:30～
ところ 松本市 あがたの森文化会館 本館1-5
お問い合わせ 旧制高等学校記念館 ☎0263-35-6226

旧制松本高等学校の同窓会に端を発する市民文化講座の第153回。今回の話題提供者はアステップ信州取締役会長の池田六之助さん。老舗呉服店を営む池田さんが、大型店のオープンを間近に控えた松本の今昔物語を語る。参加費200円。

諏訪湖イルミネーション

開催日 2月28日(火)まで毎日PM5:00～9:30頃
ところ 諏訪市 上諏訪温泉諏訪湖畔
お問い合わせ 諏訪観光協会 ☎0266-52-2111

冬の諏訪湖畔を光で彩るライトアップ。夏は花火大会が開催される諏訪湖。その花火大会で人気の水上スターマインを表現したイルミネーションのほか、湖畔の樹木や、上諏訪温泉の旅館やホテル、JR上諏訪駅でもイルミネーションを点灯。

歌舞・音曲の世界

Song and Dance-The World of Music

開催日 3月26日(日)まで
ところ 松本市 日本浮世絵博物館
お問い合わせ 同博物館 ☎0263-47-4440

松本の豪商・酒井家が代々200年にわたって収集した浮世絵のコレクションの公開をはじめ、保管、調査、研究を行う同博物館。今回は太鼓や笛など神楽に端を発し、浄瑠璃や歌舞伎へと発展した歌舞や音楽の世界を描いた浮世絵を展示。入館料は1000円。月曜休館。

特別展「真田一族」

開催日 4月3日(月)まで
ところ 長野市松代 真田宝物館新館2階
お問い合わせ 同宝物館 ☎026-278-2801

松代藩真田家初代藩主の真田信之をはじめ約250年にわたり松代藩を治めたことから、ゆかりの地として知られる長野市松代。同展では、信之の自画像「真田信之寿像」や書状などのほか真田家にまつわる資料を展示。入館料は300円。火曜休館。

バイオリン、ピアノ、クラリネット三重奏—20世紀の作品群

開催日 2月12日(日)PM2:00開演
ところ 松本市音楽文化ホール
お問い合わせ 同ホール ☎0263-47-2004

世界で活躍するバイオリン奏者の佐藤俊介と、ピアニストの小菅優、ヒストリカル・クラリネットの名手ロレンツォ・コッパトリオが、20世紀に生まれた名曲を演奏。プログラムはストラヴィンスキー「兵士の物語」ほか。チケットは一般4000円、大学生以下2000円。

長野県立歴史館出前講座

「信越国境をたどる—塩の道と姫川流域の歴史」

開催日 2月25日(土)PM1:30～
ところ 松本市立博物館
お問い合わせ 同博物館 ☎0263-32-0133

県立歴史館(千曲市)の職員が県内の歴史を解説する出前講座「やさしい信濃の歴史講座in松本」。新潟県の糸魚川から松本城下まで、塩や海産物を運んだとされる約120kmの塩の道などについて語る。講師は県立歴史館専門主事の福島正樹さん。無料。申し込みが必要。

70歳以上の公募による美術展「第7回老いるほど若くなる」

開催日 3月4日(土)～4月9日(日)
ところ 松本市美術館
お問い合わせ 同美術館 ☎0263-39-7400

「健康寿命延伸都市・松本」で隔年開催している公募展。応募条件は「70歳以上」のみ。全国から集まった多数の作品の中から、入賞・入選作品約100点を展示。年齢を重ねたからこそ味わいや奥深さが伝わってくる。観覧料は大人600円。月曜休館。

企画展「木と漆 めくもりの手仕事」

開催日 4月23日(日)まで
ところ 松本市 松本民芸館
お問い合わせ 同民芸館 ☎0263-33-1569

「民芸をみる確かな目」で、国内外の民芸品を集めた丸山太郎のコレクション約6800点を収蔵する同館。今回は暮らしの中に息づいてきた木や漆の作品などを集め、改めて手仕事の温かさに触れる。入館料は大人300円。月曜休館。

